

令和4年度

## 自己評価の観点(保育指針に基づくもの)保育所用

幼保連携型檍山認定こども園

記入方法 イ:できている ロ:概ねできている ハ:できていない

項目	前期	後期
① 保育所の保育理念及び基本方針が明文化され、職員、保護者関係者に周知するための取り組みを行っていますか。	イ ロ ハ <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
② 保育の質の向上や改善のための取り組みを全職員で行っていますか。	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
③ 「行事」を保育に取り入れるときには、それが子どもの健やかな育ちにつながることを意識していますか。	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
④ 守秘義務の遵守を徹底していますか。	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
自己評価	⑤ 子どもの安全、健康に対応できるマニュアル(感染症、給食衛生管理、危機管理、不審者対応、食中毒発生時等)があり、全職員に周知されていますか。	イ ロ ハ <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	⑥ 事故防止のための具体的な取り組み(遊具の安全点検、環境整備等)を行っていますか。	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	⑦ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っていますか。	イ ロ ハ <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	⑧ 育児相談など地域の子育て家庭を対象とする子育て支援のための取り組みを行っていますか。	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	⑨ 小学校との連携(学校訪問、保育要録の提出等)を取っていますか。	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	⑩ 民生・児童委員や自治会等の地域団体と連携した取り組みを行っていますか。	イ ロ ハ <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

前期

イ	ロ	ハ
7	3	0

後期

イ	ロ	ハ
10	0	0

## 自己評価

前期	後期
①新型コロナウイルスの感染拡大防止に気をつけながら、行事を再開していく。また、園だよりやクラスだよりを通して園での日々の生活・活動についても紹介・発信し、個人面談により、一人一人の保護者の方と対話をする時間を大事にした。	③2月の合同発表会、卒園式等の行事ができ、保護者の方々に、行事を通して、園の保育活動・子どもたちの成長した姿を保護者の方に見てもらい保護者の方と共有することができた。
②研修に参加し、保育のスキルアップ・情勢・知識を含め、保育者同士が意見を交換しながら子どもの育ちや、保護者支援がおこなえるよう取り組んだ。	④⑧地域の支援センターと連携を取り合い、支援が必要な家庭の情報共有を行っている。
⑥毎週欠かさず、園を取り巻く環境にアンテナを保育者がはり、見直しやチェック(チェック表)を行ってきた。	⑤嘔吐下痢症、ノロウイルスが2月、3月に流行したが、職員間で連携と処理物等の対応を徹底し、拡大防止に努めた。
⑧遊ぼう会などの機会を設け、お子様の年齢のクラスに入ってもらい、集団活動を楽しんでもらっている。	⑨年長担任、園長が子どもたちが入学する小学校へ申し送りを行い、支援が必要な子へは、ひき続き学校でもサポートをお願いするなど連携を行った。
	⑥バスを使っての登降園、お出かけがあるので、子どもの安全のチェック体制を見直し、バスの担当の先生と担任が必ず連携し、子どもの所在をしっかりと把握、申し合わせすることと、降車時の確認も丁寧に行っていくことを園の職員みんなで周知し実行している。